

平成24年 4月 29日

## プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

みんなのコミュニティカフェプロジェクト@みたか

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

「社会的ひきこもり」と呼ばれる若者たちの多くは、成育環境や就労経験の中で対人不安や自信喪失に陥り、社会から孤立した状態にあります。彼らが社会進出を果たすためには、他者との関わりの中で自信と安心を取り戻すことのできる「中間的労働市場」が多様に存在することが求められます。本プロジェクトは、当法人で支援を受け回復した若者たち(平成22年、真如苑助成によって韓国スタディーツアーに参加。社会的企業を視察)が構想した「コミュニティカフェ」に「中間的労働市場」の機能を持たせ、そこを拠点に地域貢献を実現し、困難を抱えた若者たちが「被支援者」から「まちづくりの主体」となることを目的とします。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

コミュニティカフェを構想し、「CAFE 風のえき」(三鷹市観光・情報スポット『風の駅』に併設)を立ち上げた若者たちが、当法人に相談に訪れた今なお課題を抱える若者たちとチームを編成し、以下のイベントを企画・実施しました。

- 6月 「認知症にやさしいまちにしよう vol.1」 地域課題共有のためのワークショップ
- 8月 「認知症にやさしいまちにしよう vol.2」 認知症サポーター養成講座・意見交流会
- 10月 「ハロウィン・スランプラー」(資料参照)
- 11月 「ボサノバミニライブ vol.1」
- 2月 「バレンタイン・フォトサービス」男女ペアを対象とした写真撮影サービス
- 3月 「ボサノバミニライブ vol.2」

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

企画・運営はもちろん、例えはちらし作成においては、デザイン・印刷・ポスティングなど、社会的自立に向けて様々なステージにいる若者が参加できるプログラムを段階的に用意したことで「今、自分が必要とされている」「地域に貢献している」といった感覚が醸成される場を多く提供でき、若者たちの孤立感解消と活動意欲につながりました。イベントは対外的にも注目され、カフェの存在が地域に浸透し、三鷹市民からの企画の持ち込み(ミュージシャンによる福島復興応援アコースティックライブ、プロ紙芝居師による口演など。すべて謝金なし)が増えたので、平成24年4月以降は定期的なイベントカレンダーを作成することが可能となりました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

協働運営という施設の性質上、カフェオープンの期日が予定よりも後ろにずれこんだことでプロジェクト開始時期も遅れましたが、本プロジェクトを中心とした若者たちの活動が評価を受け、市内イベントや市民活動団体からボランティアや仕事の要請が急増、カフェで研修を受けた就労経験のない若者が三鷹市内の法人で採用されるなど、雇用の実績も生まれました。さらに、三鷹市内で進行中のコミュニティ再生のための公共事業への若者たちの参画も期待されていて、「孤立していた若者」が「孤立した市民を地域につなげる」役割を担うための準備が整いつつあります。

カフェ1周年(8月)を目途に、改めて活動報告会を実施できたらと考えています。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

〈参考資料〉1

●6月 「認知症にやさしいまちにしよう vol.1」 地域課題共有のためのワークショップ



●8月 「認知症にやさしいまちにしよう vol.2」 認知症サポーター養成講座・意見交流会



●10月 「ハロウィン・スランプラー」



●11月「ボサノバミニライブ vol.1」



●2月「バレンタイン・フォトサービス」



写真が現像されるまでの間に  
お客様に書いていただいた  
ハート型のカードを、  
店内にディスプレイしました。

●3月「ボサノバミニライブ vo.2」

